

在京石鳥谷町人会だより

(題字 旧石鳥谷町長 高橋 公男 氏)

在京石鳥谷町人会だより
 事務連絡所 花巻市東京事務所内
 〒100-0006
 東京都千代田区有楽町2丁目2番2号 (数寄屋橋大雅ビル3階)
 TEL:03-3573-5773 FAX:03-3573-5727
 事務局 〒187-0031 東京都小平市
 小川東町 1817-39
 大竹雅夫方 ☎&FAX 042-332-3025

こあいさつ



在京石鳥谷町人会
 会長 高橋 弘美

会員の皆様、こんにちは。高橋弘美でございます。

熊谷前会長から引継ぎを受けまして、早一年を経ようとしております。

この間会員の皆様におかれましては本当に色々な事が起こった一年ではなかったかと思われま。特に三月十一日の東日本大震災においては、国難とも言える大震災が私達のふるさと岩手で起こってしまったのであります。その深い悲しみと影響は真に計り知れなく、筆舌に及べし難いことであるので、このでいろいろと申し述べることが差し控えさせて頂きませんが、いずれにいたしましても改めまして「川」なられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された皆様には心

からお見舞い申し上げます。

さて、今年も十一月六日に在京石鳥谷町人会総会・親睦交流会を開催する運びとなりました。開催に先立ちまして、毎年力強いご支援を頂いている石鳥谷総合支所(支所長・菅原康之様)と、ふるさとの特産品を福引の景品として提供頂くなどの協賛を頂いている企業一五社様へ八月一日にご挨拶にお伺いして参りました。本来被災地へ支援する立場の私共でありながら、協賛のお願いなどは厚かましく思った次第ですが、各社様とも一様に快くご協力のお言葉を頂きました。本当にありがたい事だとつくづく感じ入りました。これもふるさとの皆様と先輩会員の皆様が営々と築いてこられた深い絆の賜物と思っております。

総会の御案内状送付時にも申し上げた通り、一時はこのようなイベントの自粛ムードが広がりましたが、今ではむしろ盛大に開催し『がんばろう日本』の合言葉で、様々な角度から支援の輪を広げようと至るところで色々なイベントが開催されております。我が在京石鳥谷町人会も、予算規模こそ例年並みですが心意気は例年以上に盛大に開催しふるさとにエールを送りたいと思っております。ありがたい

ことに今年も郷土芸能の演舞が行われる予定になっております。文字通り親睦交流会としての舞台が整うことになりました。

会員の皆様におかれましては、心からお楽しみ頂くと共に会員相互としてふるさとかからお見えになる方々の旧交を温めて頂きたいと思っております。今後もうこうした活動を一層発展させていきたいと思っておりますが、そのためには会員数の増加が一番の対策であります。私ども役員も色々知恵を絞っておりますが、皆様の口コミによる誘いが一番効果的であると思われま。こうしたことも含めまして、引き続き皆様の絶大なるご協力を切にお願い申し上げます。



熊谷前会長
花巻市から表彰される



花巻市の制度である『花巻市活力ある町づくり表彰』において、在京石鳥谷町人会の熊谷前会長が表彰対象に選ばれた。表彰式は十月十三日(木)、ホテルグランシエール花巻にてとり行われる。今回の表彰対象はオール花巻で十七名。

受賞者の住所を見る限り県外の方は熊谷さんのみの方だ。

ご本人にも通知されており、表彰式への出席について承諾頂いている。石鳥谷総合支所から推薦していたが、最終的には本庁の地域づくり課からの推薦拳があり決定したものだ。

以上、高橋会長に石鳥谷総合支所の伊藤課長から十月四日付で連絡を頂いたそつです。

熊谷前会長

おめでとうございます。

花巻の

シティセールス

花巻市東京事務所長

永田 祐二

東日本大震災の関係で定期人事異動が一月遅れ、今年五月から佐々木前所長の後任として着任しております。永田です。

昨年は全国的な長い猛暑であり、今年も暑いアツツイ東京を覚悟しながら初めての单身生活を始めたのですが、今年は思ったほどもなくラッキーな年に着任したとホッとしています。でも生まれて初めてエアコンのある生活を経験しました。

さて、花巻市は豊富な温泉群のほか宮沢賢治や萬鉄五郎等を排出、高村光太郎や新渡戸稲造のゆかりの地、早池峰神楽や鹿踊り等の民族芸能、雑穀生産日本一、米も野菜も果樹も花卉も、そして恵まれた高速交通網、スキー場やポート場と、花巻にないのは海だけです。また総合体育館の増築により大規模大会の開催がさらに可能となりました。このような他市にはない花巻の優位性を会う人毎にPRしながら、

企業誘致をはじめ花巻に人、モノ、お金、情報を取り込むべく三人の職員で仕事をしています。

せっかく優雅に(?)東京住まいしていることから、日光・鎌倉見学、尾瀬や奥多摩のトレッキング、高尾山登山、記念館巡りとプライベートの休日もエンジョイしています。

石鳥谷の皆さん、東京事務所は交通に至極便利な有楽町駅に近接しています。岩手や花巻の情報に飢えたときや、お買ひもの、仕事の途中でも何でも構いません、どうぞお気軽にお茶っこ飲みや休憩に立ち寄ってください。花巻のなまりっこでお話ししませんか、お待ちしております。

石鳥谷アイスアリーナ



岩手県人の集い

に参加して

(東日本大震災津波犠牲者と

被災者支援の集い)

S・S

六月五日(日)ホテルラングウッドにて開催されました。今年の岩手県人の集いは、今までと異なり大規模震災を心配した故郷に想いを寄せ、何か新情報を得られるのでは?少しでも復興を支援しなければという気持ちの篤い集いとなりました。参加者は五百人会場いっぱいでした。

総会は物故会員並びに震災で亡くなられた方々の黙祷にはじまり達増知事の復興に向けての挨拶、沿岸被災地各市町村の職員代表者からの、被災状況現状報告があり、心が痛む報告でした。

親睦会のアトラクションでは大船渡市出身の新沼謙治がふるさと岩手の復興を願うての熱唱!一曲、一曲篤い想いが伝わり会場は静かに聞き入っていました。乾杯、交流会、義援金募金と特別な盛り上げりの会でした。会場入り口では岩手のお菓子、海産物わかめ、ウニ被災前にとれたもの。取り立ての山菜ミズ、うまい、姫だけの

こ、わらびの販売があり被災支援とばかり飛ぶように売っていました。山菜はやはりふるさとの味。たくさん買い込んで久々にふるさとの味をたのうしました。

平成二十三年度岩手県人連合会総会にて岩手県義援金として五百万円支援することに決定しました。



いらっしやい

柳原記

去る五月二十八・二十九の土日、阿佐ヶ谷はすすらん通り商店街で我が故郷の喜平堂さんと共同農産(株)さんが出店し、町人会有志が手伝いを買ってでました。残念ながら両日共、生憎の雨日よりで人通りがまばらであったが、我等ロートル助っ人隊は慣れぬ呼び込みで客寄せを楽しみました。「さーいらっしやい いらっしやい」「そこのお嬢さん、賢治も食べた(ゆべし)、さー食べるべし」「奥さん、旦那に三陸産おつまみ、どうですか。さー試食(うしぞ)」

食故郷
事件発口中

幼心今再生
舌覚駄菓子
故郷味素晴



都内散策

M・S

五月二十二日今回は銀座散策です。帝国ホテルに十時に集合、前日の予報では雨なのに晴。

東京都中央区ストリートガイド協会会長の池田文夫氏のご挨拶があり、十時半頃に散策開始です。

銀座1丁目駅(メトロ)



中央区郷土天文館によると慶長十七年に現在の銀座二丁目あたりに銀貨を造る「銀座役所」を置いたことから「銀座」と呼ばれるようになったそうです。当時の正式な町名は銀座役所が置かれた本町替町(現在の日本橋)に対して(新町替町)この辺には両替屋が建ち並び、町名として銀座と名付けられたのは明治時代になってからと

の事。幾多の災害に遭いながらも交通の便の良さが銀座を発展させたそうです。

京橋の親柱、燈臺、銀座出世地藏尊、日本初の電気灯の跡、銀座四丁目のシンボル和光の時計台、街角には色々な記念碑がありました。

ガス灯



銀座の柳

歩き疲れたのでティータイム、カフェの中を抜ける細い路地では暗い入口

にドキドキ、路地裏に地元の人々が守る豊岩稲荷神社を見つけました。

昔花街の傾芸妓さん、板前さんがお参りし仕事に出かけたそうです。今も「銀座の湯」「金春湯」の二つの銭湯が息づいています。金春屋敷跡、銀座の柳の碑、三十間堀、柴口御門跡など、校舎全体が蔦の葉におおわれた泰明小学校があり、脇には銀座の柳二世があり、島崎藤村、北村透谷記念碑が、二人はこの小学校で学びました(女優の朝丘雪路さんも)。

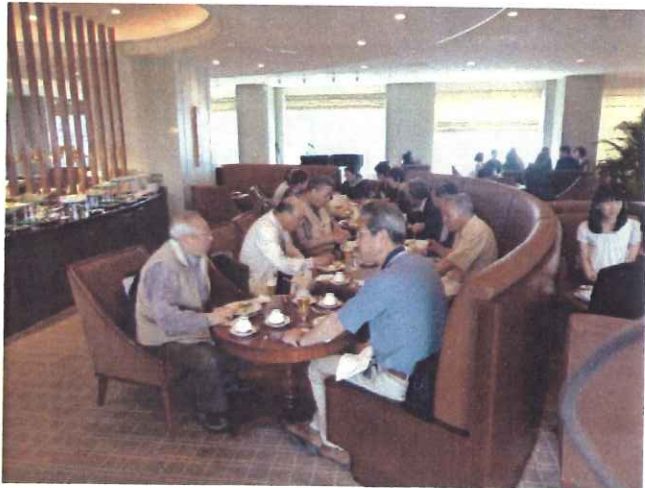
啄木の碑



また、石川啄木の碑がありました。啄木は明治四十二年から三年間朝日新聞社に勤め多くの作品を残しましたが、その碑には「灯りともる頃のいそがしさかな」

この歌が肖像画と共に刻まれています。何度も車に当てられグラグラ、今は地元の方に守られてステンレス製の防護柵になっていました。表の銀座しか知らなかったけど、裏も知るところが出来有意義な二時間三十分程のお散歩でした。

昼食は帝国ホテル十七階インペリアルラウンジでバイキング、ホテルは明治時代に鹿鳴館の宿泊客のために建てられたそうです。眼下に皇居の森が見渡せる眺望のいいレストランで皆さんと昼食を取りながら楽しい一時を過ごすことが出来ました。



いわて創作料理教室

吉田 久美子

九月三日文京区の湯島アカデミーにて、公益財団法人ケア・インターナショナルジャパン主催の「いわて創作料理教室」が開催されました。石鳥谷町人会から大竹雅夫さん、佐々木ミツ子さんと三人参加しました。参加者は皆さん岩手にゆかりのある方ばかりでした。

講師は銀座アルコ・イリスのシェフ古川義明氏(花巻市出身 三二歳)でした。

「東京から被災地を応援しよう」という目的の下、岩手から食材を全てネットで注文し取り寄せているそうです。六月に第一回目、好評により今回は第二回目の開催だそうです。

当日のレシピは「岩手産かぼちゃのニョッキ」と「葛巻高原のクリームチーズティラミス」私達は三人でグループでしたので、チームワークだけは抜群！難しいところは古川シェフに直接教えて頂き一時間程で完成。さて楽しみな試食タイムです。

ニョッキは楕円形で一口サイズ、材料は小麦粉とかぼちゃと卵でもっち

りした食感です。かぼちゃの甘みに、トマトの酸味、塩コショウでおいしく出来上がりました。そしてデザート、甘さをおさえたティラミスは大人の味でした。

今、人気のイタリアン。皆さん古川シェフのお店に一度食べに行きませんか！



おいしそう～!



沿岸被災地支援ボランティアに参加しました

ボランティア その1

— 負けねっすよ釜石 —

八幡・上川 信行

震災後TVに映し出

される岩手県沿岸部の状況は本当なのか自分の目で見ない限りは信じられない思いでした。

沿岸部に行くのであれば災害支援の邪魔にならないようできれば少しでも役に立てればと思います
花巻社会福祉協議主催の第六次、第十六次のボランティアに参加しました。

1 第六次沿岸被災地 救援ボランティア

五月二十九日に一回のボランティアに参加しました。初めての参加で何をどう準備していいかわか

らず長靴と手袋、ヘルメット、雨具とおにぎりを持って夫婦で参加しました。参加者は二十名で学生、個人、若男女、地元、県内、県外からの混合部隊で活動場所は釜石市でした。移動は協議会が用意したミニバンで遠野の風の丘で休憩をとりながら釜石に向かいました。途中、東和から警察関係車両五台位が沿岸部に向かっていました。

■ 釜石市状況

TVニュースでは津波被害エリアをクローズアップして放映しているが、まったく無傷のエリアも残っておりまさしく明暗を分けるポイントがあります。

JR釜石駅より山側は無傷であるように見えました。海側は建物が見えるが一階部分が被害を受けており、さらに海岸近くは二階、三階まで被害がありました。また、まったく跡形もないエリアもありました。釜石市内を大阪府警、秋田県警のパトカーが巡回警備している光景が異様に見えました。自衛隊も遠野総合体育公園に大規模な基地があったが第七師団(北海道・千歳)の部隊が釜石ボランティアセンター傍に駐屯していました。ボランティア

センターの職員も他県から派遣された方でした。

■ 避難所の住居スペース作り



釜石体育館に向かい、畳運びと聞いていたが既に作業終了していました。私達は体育館の床に敷き詰められた畳とその上のラバーに住居スペースの区割り作業(一区画一人は1.5m×2.5m)を行いました。その後雑巾がけて終了しました。

しばらくして避難している方々がそれぞれのスペースに引越してきました。

これでいいのかなと思いつつもしよつがないとあきらめました。

■ 避難所支援物資の整理

釜石体育館には沢山の支援物資が届けられていました。その種類と量

はびっくりするくらい多かったです。



国内は勿論ですが中国、台湾、韓国、タイ、カナダ等外国からの支援物資も多くありました。外国からの物資はダンボールの文字がハンゲル、中国などで読めないのが開梱しパッケージの絵で判別しなければならぬので手間がかかりました。開けてみたらビスケットとかスープとか美味しそうなものでした。

■ 道路沿いの側溝泥上げ

午後は津波の被害が一階までぐらいのエリアの道路沿いの側溝の泥上げ作業に行きました。南アルプス

2時間ぐらいで
綺麗になりました。



側溝にはコンクリート製の蓋(50cm×50cm・20kg)がない場所があった。津波で流されたらしい。側溝は長さ三十メートルぐらいの範囲でしたが土砂、ヘドロ、ゴミ、ガラス、瓦礫、重油がごちゃ混ぜで側溝に詰まっていたので危険で臭いし重い泥でした。



市から来られたボランティア二十名と合同で作業となりました。



■ 泥上げ作業終了後に津波被害が最もひどい海沿いエリアを経由して帰路につきました。車が紙のようにくしゃくしゃになっていたり、船があり得ない場所にあたり、家が傾いていたり、どうすればここまで滅茶苦茶になるのか不思議な光景でした。

2 第十六次沿岸被災地救援ボランティア

二回目の参加は八月十日、津波から五か月、前回参加から三カ月経過し少しは復旧が進んだかなと期待がありました。今回は十五名の参加でリピーターの参加者が多く、初めての参加者は五名ぐらいでした。

■ 釜石市状況

五月と比べJR釜石線の向かい側の新日鉄の工場に集められた瓦礫の山が高くなっていました。釜石のボランティアセンターには夏休み期間であることから大学生が多く見受けられました。また県外からの団体ボランティアの方々も続々と大型バスで来ています。五月はあまり気温の事は気になりませんでした。八月はさすがに暑く、何もなくても自然に汗がでできます。屋外の作業は熱中症の危険もあります。

■ 避難所撤収作業

五月に支援物資を整理した釜石体育館、八月十一日が撤収期限で既に避難されている方々は仮設住宅に移動されたとの事でした。

体育館の周りに仮設住宅が完成していました。五月には沢山あった支援物資も少しだけ残っておりその

■ 魚市場周辺の状況
整理と片付けと清掃作業でした。

作業終了後に魚市場周辺の様子を見に行きました。魚市場は陥没し、高潮の影響もあり水没していました。周辺の工場、事務所は廃墟もしくは基礎だけでした。信号機も壊れたままでした。

その市場の東側には座礁したタンカーが放置されていました。





震災から五カ月が過ぎましたが海沿いの様子は少し片付けが進んだようですがまだまだこれからの様子でした。
釜石港しか見ていませんが周辺の港も被害が凄いのだろうと想像できず。

3 ボランティアに参加して

ニュース映像でしか知らなかった被災地、自分の目で見て触れて、匂いを感じ津波の被害とはこういうものなのだ実感し、改めてそれが現実であると感じました。
被災された方々、社会福祉協議会の方々、ボランティアメンバーと少し

の時間ではありませんが一緒にその時を共有できたことは大きな意義がありました。これからもまだまだ人的支援は必要だと思われず。少しずつですが活動を長く継続して、復興していく釜石を見ていきたいと思えます。
それが東京に住んではいますが岩手に故郷を持つものとして郷土を愛する一つの証としたいと思えます。



田んぼアート

八幡まちづくり協議会

「銀河鉄道に夢と希望をのせて」

ボランティア その2

行ッテ

さいたま市見沼区在住

菊池 善男

大宮と実家を毎月行き来しながらの暮らしの中、実家で「東日本大震災」に遭った。「大津波・三陸沿岸壊滅状態」などと報じられた。
三月二十二日、釜石、鶴住居、大槌の被災地へ入った。そこには映像と全く違う悲惨な現実の世界が広がっており言葉を失った。

三月二十三日付けの「朝日」に、AMDA(アマタ)が百五十人の医療スタッフの被災地へ送り込みを花巻市で調整しているという記事を目にし、直ぐ岡山市の本部に電話を入れた。要請に応え二十七日朝、高橋淑郎市議、高橋久男元消防団長より借用の軽トラ二台に医薬品、救援物資を満載し、高橋「子息と私が運転、拠点避難所の大槌高校、寺野弓道場へ配送した。

その後、海外医療団向けの通訳手配、毎日の釜石―大槌間の送迎運転手派遣に応じた。

四月七日、災害ボランティア活動のモデルと称される「遠野まじこ」

ネット」に週一〜二回とし登録。釜石、大槌に参加している。
女優の林洋子さんは、昨年「林洋子ひとり語り―宮沢賢治」公演の三十周年を祝った。

三陸沿岸各地も幾度となく訪れている。

大船渡の支援者の死亡記事を目にし、慰問公演を決意。五月十七日〜十九日、二人で各地を下見訪問、六月の公演日程を決定した。

十八日(土) 大槌町・吉里吉里旧中学校体育館

十九日(日) 山田町・山田高校体育館
二十日(月) 大船渡市・カメラアホール

二十一日(水) 野田村・海蔵院別館

「雪渡り」で笑顔が広がり「雨ニモマケズ」では嗚咽の波が広がった。

「えぼし荘」で、野田村の小田村長の首頭で絆を確かめ喜び合った。

「雨ニモマケズ」の賢治の「行ッテ」に込めた公演は、深く心に沁み入るものとなった。



会費納入のお礼とお願い

会員の皆様には、会費納入にご協力ありがとうございます。

納入された会費は、会報発行費や町人会の活動のために有効に活用させて頂いております。

つきましては、本年度の年会費を郵便振替用紙にてお振込下さいますようお願い申し上げます。

口座名義：在京石鳥谷町人会

口座番号：00180-7-261234

会計担当 山口

年間の主な予定・催しもの

- ☆ 総会・親睦交流会
- ☆ 岩手県人の集い
- ☆ 石鳥谷夢まつり
- ☆ 花巻・石鳥谷観光物産展
(阿佐ヶ谷すすらん通り商店街)



石鳥谷音頭

- 1 ハアアア アアアアー
花のナアゝ 花のみちのく
石鳥谷
りんご娘の唄も咲く
お山早池峰雲の上
ヨイヨイトサの石鳥谷
- 2 ハアアア アアアアー
流れナアゝ 流れ北上
葛丸か
かたい契りの縁結び
実る穂の波こがね波
ヨイヨイトサの石鳥谷
- 3 ハアアア アアアアー
南部ナアゝ 南部杜氏のお
酒造り
月もほろ酔いひと踊り
戸塚のみみしも紅くなる
ヨイヨイトサの石鳥谷
- 4 ハアアア アアアアー
今もナアゝ 今も昔も
名代そば
行こか観音願掛けに
蘇民祭りは 五大尊
ヨイヨイトサの石鳥谷
- 5 ハアアア アアアアー
名さえナアゝ 名さえ七盃は
釣ぶじろ
金線鮎に胸おどる
誰を呼ぶやらハイキング
ヨイヨイトサの石鳥谷
- 6 ハアアア アアアアー
揃うナアゝ 揃う心に
まち榮え
伸びる伸びるよ豊かにも
今日も希望の鐘が鳴る
ヨイヨイトサの石鳥谷

編集後記

会報の発行にあたっては、会員の皆様のご協力ありがとうございます。

今回は、被災地へのボランティア活動をされた方から寄稿頂きました。有難うございました。会員皆様の会報です。

何でもよろしいです。気がついた事、体験記、エッセイ、最近思う事等、原稿をお待ちしています。会報冒頭の事務局宛お願いします。

広報部